

# 調査・研修等計画届出書

令和元年6月4日

瀬戸市議会議員 長江秀幸様

議員名 伊藤 賢二 

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

## 記


期 日	令和元年8月5日（月） 泊 日）	
調査先・研修名	都市経営セミナー	
会場名（会場所在地）	全国都市会館 2階大ホール	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	文化・芸術振興は本来的に行政と外部（民間・地域・住民）との連携が不可欠。文化・芸術振興および公民連携の在り方を研修する。	
議長名の依頼	不要	依頼先（名称）
同行者名	無し	

※行程表を添付してください。

# 調査・研修等報告書

令和 元年 8 月 6 日

瀬戸市議会議長長江 秀幸 様

議員名伊藤 賢二 

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

## 記

期 日	令和元年 8 月 5 日 (月) ( 泊 日)
調査先・研修名	都市経営セミナー
会場名 (会場所在地)	全国都市会館大ホール
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	文化・芸術分野における公民連携 学識経験者による講演と実務者による事例報告 パネルディスカッションによって議論を深めることで これからの文化・芸術振興および公民連携の在り方を研修
調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等	
可児市文化創造センター A L A 館長兼劇場総監督 衛 紀生 相対的貧困は先進国が抱える社会問題 「見えない貧困」「見える貧困」 「相対的貧困」には共通する 3 つの要素がある。 1 つ目は「経済的な貧しさ」 2 つ目「つながりの貧困」 3 つ目はそのことからくる 「自己肯定感の貧困。その結果の「孤立と孤独」 「Ala まち元気プロジェクト」は「つながりの貧困」「自己肯定感の貧困」に誰でも 陥らないための「まちを元気にする処方箋」として 2009 年に年間 265 回で始 められました。近年では、年間 400 回を超え「誰も孤立させない」をミッション に継続されています。職員がこれを文化芸術の社会包摂機能を稼働させた戦略的な 投資としての劇場音楽堂等の重要な任務として自覚して、そして子ども達や高齢 者、障がいのある方、子育て中の方からワークショップの現場で教えている	

「自立」とは誰にも頼らないことではない。沢山の依存先を持っていることこそが本当の意味での「自立」誰にも頼らないのは「孤立」

「alaまち元気プロジェクト」の成果を数値化している。  
県立東濃高校の中途退学者が激減したプロジェクトは、芸団協の調査で社会的投資収益率が上がり、「児童・生徒のためのコミュニケーションワークショップ」も効果をあげ社会コスト・行政コストが削減された。

東京大学法学部教授 金井 利之

文化芸術ガバナンスにおける公民連携

文化・芸術は、本来的に民間が行なう活動

行政は文化・芸術に関与すべきか？

行政というパトロン 現代では民間の巨大パトロンの代わりに行政がパトロンとして提供

民間文化芸術活動も、偽政者との良好な関係が有利という下心

興業・芸能は反社会勢力との関係も良好な方が有利である面（きつてもきれない）

調査先（主な質疑・応答内容） / 研修（受講後の感想）

豊島区の未来と夢

豊島区長高野 之夫

豊島区①日本一の人口密度

②7大学など10万人が学ぶ

③巨大ターミナル 1日乗降客265万人

財政破綻のピンチからの脱却 平成11年 財政破綻寸前

平成29年度決算では160億円貯金が借金を上回る 財政健全化

まちを大きく変えた「新庁舎建設」

\*資産活用で「実質ゼロ円」で税金を使わず庁舎を建てた日本初の事例  
地下3階 地上49階「としまエコミューゼタウン」分譲マンション

公有地を含む市街地再開発事業

旧庁舎地を定期借地権で活用

国際アート・カルチャー都市構想

文化を基軸にしたまちづくり、国内外から人が集まり交流する文化都市へ

調査・研修の成果・考察

(瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等)

本市も2005年愛・地球博開催を契機に中国景德鎮市をはじめ韓国、チュニジア等交流を重ねてきた。博覧会開催中は国内外から大勢の観光客にも瀬戸市にきて頂いた。1000年以上の陶磁器の歴史を活かし、文化・芸術の街として街づくりを強力に推進してゆく必要性を強く感じました。